ゆいっこ 盛岡新聞

ぼくらの復興支援 IWATE YUICCO

vol.9 発行日／2012.2.29

編集・発行／いわてゆいっこ盛岡
〒020-0866
岩手県盛岡市本宮 5-10-20-120 号棟
Tel：090-4476-7083
Mail…… morioka@yuicco.com
Blog …… http://yuicco.com
Twitter …… iwate_yuicco

お知らせ

復興祈念行事「祈りの灯火～共に希望を抱いて～」 …3/11（日）盛岡城跡公園内 もりおか歴史文化館前

東日本大震災からちょうど1年目を迎える3/11（日）、復興祈念行事の一環として「祈りの灯火～共に希望を抱いて～」をいわてゆいっこ盛岡が中心となり進めさせて頂くこととなりました（盛岡広域市町村長懇談会主催）。この行事は、3/11に盛岡広域8市町村内で2万個の灯籠にあかりを灯し、死者、行方不明者1万9,312人の方々のご冥福をお祈りするというものです。メイン会場をもりおか歴史文化館前に据え、その他盛岡城跡公園の一部、中津川河川敷の使用を予定しております。

※行事全体の流れは盛岡市のホームページでご確認ください。
http://www.city.morioka.iwate.jp/event/event/013495.html

「祈りの灯火～共に希望を抱いて～」

【日時】3月11日（日）　17:00～

【会場】盛岡城跡公園内 もりおか歴史文化館前、及び中津川河川敷会場。

※会場へお持ち頂いた灯籠は来年も使いますので、こちらで回収させて頂きます。

<行事への参加方法>

●灯籠を制作し、当日会場にロウソクとともに持参して頂く。
　受付場所／盛岡城跡公園（もりおか歴史文化館前）特設受付
　受付時間／9:00～14:00

●灯籠を制作し、前日までに回収場所まで持って来て頂く。
　受付場所／もりおか復興支援センター受付
　（盛岡市内丸3-46　旧農林中金ビル　TEL：019-654-3521）
　受付時間／10:00～19:00　※月曜日休み

●ご家庭でロウソクに火を灯し、亡くなられた方へのご冥福と、復興への新たな誓いを共にする。
※皆様と心を１つにし、追悼の意を捧げたいと考えております。ご来場お待ちしております。

<ボランティア大募集>

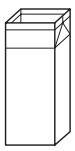
初めての方、学生さん、年配の方、どんな方でも責任もってお手伝い頂ける方であれば歓迎致します。詳しくはいわてゆいっこ盛岡のホームページでご確認ください。※ボランティア保険にご加入ください。加入手続きは盛岡市社会福祉協議会にて受け付けております。

●ボランティアに関するお問い合わせ、お申込み
TEL 090-9744-8171（お電話でのお問い合わせはお急ぎの場合のみでお願致します）
FAX 019-647-6361
MAIL morioka@yuicco.com

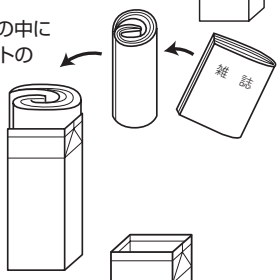
★牛乳パック灯籠の作り方★

<用意するもの>　牛乳パック、カッター、鉛筆、定規、不要になった雑誌1～2冊

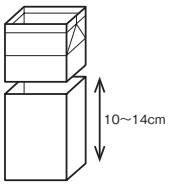
①空になった牛乳パックをきれいに洗い、図のように完全に口を開いて乾燥させる。
※低温殺菌牛乳や高濃度の牛乳は、内側に乳脂肪が付着しているので熱湯ですすぐとよい。



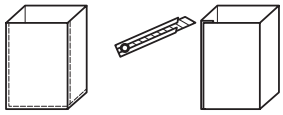
②雑誌を丸めてパックの中に詰める。カッターマットの役目になるのでパンパンになるくらいがよい。



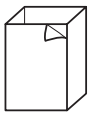
③底から10～14cmの高さにカットする。



④四つ角と底辺の四方にカッターで浅く切り込みを入れる。
※合わせ目のところはギリギリの位置に入れる。



⑤切り込みを入れた角から、印刷された表面を少しずつはがしていく。底ははがさなくてよい。
※パックの紙は何層かになっているが、一番上の層だけをはがす。



⑥好きな模様を鉛筆で薄く下書きし、カッターで切り抜く。
※穴が大き過ぎると火が消えやすいので注意。
※模様はペンで文字や絵を描いたり、切った色紙や毛糸、押し花を貼るなどしてもよい。

⑦雑誌を抜いて完成。

「祈りの灯火」にむけて　夢灯りワークショップ開催　…2/17(土)・18(土) もりおか復興支援センター

3/11「祈りの灯火」に向けた取り組みが始動しております。その一環として2/17と18、もりおか復興支援センターを会場に、田老式夢灯りのワークショップが行われました。講師に、田老式夢灯りを作っていらっしゃる小向アサ子さん(宮古市田老在住)に来て頂きました。小向さんは、昨年の田老での追悼行事で、夢灯り作りを中心になってやられていました。

▲小向さんのデザイン画の中から好きなものを選び、製作中。みなさん真剣です。

ゆいっこメンバーも夢灯り製作に参加させて頂き、そのご縁で今回の参加ご協力のお願いをさせて頂きました。当日は、盛岡市民の方々、内陸に避難されている方々と一緒に、夢灯り作りを行いました。まず、小向さんが準備してくださった図案の中から、好きな柄を選びます。そして、カーボン紙で牛乳パックへ写し、カッターで切り絵を立体的に仕上げていきます。皆さん、和やかに、時には真剣に10:00～15:00までの間、作業してくださいました。そして、出来上がった夢灯りから、スプレーで色かけをして完成です。なかにはとても難しそうな着物の図案にチャレンジしている女性もいて、仕上がりが楽しみです。製作過程の虜となり、次回のワークショップにも引き続き参加希望された方々も多くいらっしゃいました。当日、皆様の想いが込められた夢灯りが温かい演出をしてくれることでしょう。

◀着物の柄をもとに製作された女性も。細かい作業ですが、出来上がりが楽しみですね。

▲1回目のワークショップで出来上がった夢灯り。牛乳パックからこんなにステキな灯籠が完成しました。小向さん、ありがとうございました。

お出かけバス　「いわて雪まつり」へ行こう!　…2/11(土)　雫石町「小岩井農場」

宮古市重茂地区にある重茂・千鶏・鵜磯の3つの小学校の子供たち、その保護者の方々を「いわて雪まつり」@小岩井農場にご招待する、とういうイベントを行いました。3/11の震災で被災した千鶏・鵜磯の2校は、現在重茂小学校に間借りする形で勉強や各行事を行っています。校庭には仮設住宅が立ち、震災前とは環境が違う中で子供たちは暮らしています。1日ではありますが、普段遊びなれない「雪」と触れあい、ソリやかまくらで遊んでもらい、岩手の冬をおもいっきり遊んで欲しい、という思いで企画させて頂きました。以下、当日の行程です。

【6:30／重茂魚協出発 → 10:00／小岩井農場到着(自由行動＆昼食各自) → 14:30／集合＆写真撮影 → 15:00／小岩井農場出発】

会場は沢山の親子連れやカップル、団体客で賑わっていました。まきば園の中と外に大きなそりの遊び場があり非常に人気でした。また、10:30からのゴーカイジャーショーを楽しみにしてきたお子様もいました。大人もワクワクしたのは、沢山の屋台。地元産の料理が軒を連ねてました。今回は行き帰りのバスを出し、無料で送迎。会場内では各家族やお友達で自由に遊んで頂きました。お母さん達が買い物に行っている間にゆいっこメンバーが子ども達と交流したり、少しでもサポートできていたら嬉しいです。なかなか雪が積もらない沿岸だけに、ソリで遊ぶのは珍しいとか。楽しい冬の日の思い出になってくれたらいいな、と思います。ちなみに派手なスタッフジャンパー(写真左下)出来ました。このお陰で広い園内でもすぐにゆいっこメンバーが見つけられました。

▲新しく出来たゆいっこジャンパーが目印。どんな場所でも目立ちますね。

▲当日はファミリーで大混雑の小岩井農場でした。特に滑り台での列はすごかったです。

さてここからは、今回わざわざ東京からボランティアに参加、とってもそりで遊ぶのが上手な石川さんからの報告です。

震災以降出来ることがあったら何でもやろう、とボランティアにほぼ毎月参加させて頂いていました。休みを取る事が難しい仕事をし

ているので、短期・単発・単独の受け入れ先を探すのは毎回大変でした。受け入れ先が決まっても長期でいれる訳ではないので、どうしてもボラセンやスタッフの方の対応はなんとも言い難い時もありました。しかし、今回ゆいっこさんのイベントに参加させて頂き、そんな単発参加の私でも楽しく参加させて頂きました。ボランティアは思いで成り立つ部分があるので人柄が何より出るのかな…と思っていますが、ゆいっこさんはなんともフレンドリーであたたかい団体さんなんだなぁと思いました。是非県内外を問わずボランティアに参加してみたい方はドーゾと勧めたい団体さんです。何も出来ず、ただ遊んで終わってしまいましたが、本当にありがとうございました。

▶東京からボランティアに参加してくださった石川さん。ありがとうございます。

縁台作りと着物ほどき　…1/28(土)・2/5(日) 宮古市藤畑地区・田の神地区仮設住宅、実田地区『あねさんショップ』

1/28(土)、2/5(日)と2日にわたって、仮設住宅の縁台作りと『あねさんショップ』での着物ほどきをしました。縁台設置場所は２ヶ所。藤畑地区の仮設住宅、そして社協から依頼がありました田の神地区の仮設住宅です。藤畑地区は、山の麓ということで傾斜も大きく、少し奥まった場所でした。買い物ができる場所が近くに無く、バス停も遠い。また、傾斜が大きいため仮設の土台が高くなっています。窓から下が1m以上もあり、洗濯物を干すのも一苦労、という様子。それに合わせて作った縁台は、1mの高さになってしまいました。縁台に腰かける、ということは出来ないのですが、「安心して洗濯が干せる」、と喜んで頂きました。田の神地区の仮設住宅は、それとは対照的でした。土台が低く、40cm程の高さの縁台を作りました。本来はこれくらいが腰かけるにも、踏み台にするのにもちょうどいいのかなと思いました。仮設住宅が抱える問題は、建てた業者による違いだけでなく、立地場所によっても大きな差があることを改めて学びました。全てに対応することは難しいですが、それでも一つ一つ、より多くの声ひろっていきたいと思います。

吉水さん、六波羅さんは1/28の活動に、ともに東京から参加していただきました。以下、お二人のレポートです。

1/28の宮古市での縁台作りに参加しました。氷点下という寒さでしたが、天候にも恵まれ、出来上がった縁台を仮設住宅にも無事取り付け、笑顔も見れました。床が高いため、物干し竿がとんでもない高さにある。住宅に入居して半年以上も経つのに、まだまだ数え切れない仕打ちがあるのでしょうか。時がたてば薄れていく人々の震災の記憶のなかで、この方達は戦い続けなければいけない。被災者の方と話をした時、「元に戻るのは難しいのでは」と言ったら、「元には戻らないさ、新しく作るしかないよ」と。辛さを乗り越え、新しい出発の強い決意を感じました。私も微力ながら応援していきたいと思います。暑さ、寒さにも負けず、地道な応援活動を続けている地元の皆さんには感謝します。ゆいっこの皆さんにはお世話になりありがとうございました。また機会がありましたらよろしくお願いします。

縁台作り報告／吉水

昨年7月に岩手県北観光さんのボランティアツアーに参加し、ゆいっこ盛岡さんと宮古市さんとのご縁ができました。今回、女性参加者は着物ほどき、男性参加者は縁台作りのボランティアです。宮古市実田にある『あねさんショップ』にお邪魔し、代表の須賀原チエ子さんから、実際にほどき方を教わり早速作業にとりかかります。「皆さまの善意のこもった大事な着物ですから、丁寧にほどかせて頂いています。」と須賀原さんから伺い、みな慎重に糸をほどきます。着物の色や柄、手触りがうまく生かされた、とてもお洒落な小物を拝見しながら、自分がほどいた着物がどのような作品に生まれ変わるのだろうと、期待が高まります。みな作業に集中しながらも、女性ばかり12名も集まったわけですから、誰かの話す家族や映画の話しなどに思わず笑いが漏れて、作業は楽しく進みました。当日宮古は最高気温が－3℃という寒さでしたが、11名のあねさんたちとこのような温かな一時を共有できてありがたく思っております。そして宮古にお住まいの須賀原さん、三浦さん、おださん（ショップに毎日ボランティアでいらっしゃる方です）から震災当時のお話しを伺い、東京での日常生活でともすれば被災地に対する関心を失いつつあると気付かされました。また是非宮古に来たいと思います。宮古の皆さま、ゆいっこ盛岡の皆さま、これからも宜しくお願いいたします。

着物ほどき報告／六波羅

▲ほどいた着物がどのような小物に変身するのか楽しみですね。

お出かけバス　「湯ったり館」で温泉に入ろう!

…1/22(日) 宮古市「湯ったり館」

仮設住宅に住んでいらっしゃる方とお話をしていて、『以前に比べ外に出ることが少なくなった。』、というお話を伺いました。そこでこの度、「お出かけバス」を企画しました。宮古の皆さんを、バスでお買い物やプレイスポットにご招待する、という内容です。1/22(日)、その1回目は、「日帰り温泉ツアー」を企画しました。近内雇用促進住宅の方々と一緒に「湯ったり館」(温泉施設)まで行って参りました。温泉で体を温めて、ゆっくりお食事をしながらくつろいで頂きたい、という思いからです。バスの中、お昼ご飯…、と終始和やかで、楽しい雰囲気のツアーでした。今回はボランティアではなく、ツアー客の一員のような感じで、近内の皆さんの中に入り、一緒にお話をさせて頂きました。1月に宮古で雪が積もることは珍しいようで、当日の朝の様子に驚かれたこと、お相撲の話等々、楽しいおしゃべりタイムでした。ちょっと時間が短く、ゆっくりくつろがれたのか心配しておりましたが、最後に皆さんから、「ありがとう。今日は楽しかった、また行きたいね～。」との声を頂き、安心しました。「またぜひ行きましょう!!!」とお返事してこの日の活動は無事終了。近内の皆さんいつもありがとうございます。

お守りの支援　…新潟県十日町市

新潟県十日町市の『心と心プロジェクト』の皆様より、一千個ものお守りを頂きました。米と着物の産地である十日町市に昔から伝わる「百毫のお守り」というもので、米の粉でお団子を作り、ご祈祷していただいたものを手作りの袋に入れ、身に着けます。中のお団子は割れるほど縁起が良いと言われているそうです。十日町市は昨年3月12日に三度目の大地震に遭い、また、この冬の大雪でも被害を受けております。東日本大震災の被害は十日町市のそれの比ではないものの、同じ被災者として何かお役に立ちたいという想いから、今回お守りを送ってくださいました。色とりどりの着物地で作られたお守りはとても可愛らしく、心和むものです。今後宮古市の皆さんにお配りする予定です。心と心プロジェクトの皆様の温かいお心遣いに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

活動記録(H24.1.22～H24.2.23)

月	日(曜日)	活動内容
1	22(日)	●お出かけバス（宮古市『湯ったり館』）
	28(土)	●縁台作り（宮古市藤畑地区仮設住宅） ●着物ほどき（宮古市藤畑地区『あねさんショップ』）
2	5(日)	●縁台作り（宮古市藤畑地区・田の神地区仮設住宅）●着物ほどき（宮古市藤畑地区『あねさんショップ』）
	11(日)	●お出かけバス (雫石町小岩井農場「いわて雪まつり」)
	17(金)・18(土)	●夢灯りワークショップ (もりおか復興支援センター)
	18(土)・19(日)	●灯籠制作会 (もりおか復興支援センター)
	22日(水)	●灯籠制作会（盛岡駅）

＜着物生地＞　おゆずりください

宮古市の「あねさんショップ」では、着物のハギレを使って小物を作り販売しています。その材料である「絹」の着物生地のハギレ、反物、着物や帯のご寄附をお願いしています。美品であれば新品でなくとも結構です。おゆずりいただける方は、下記までお送りください。

＜あねさんショップ＞
住所／〒027-0025　岩手県宮古市実田1丁目7-29
電話／0193-77-3213

支援金をありがとうございました!

【支援金総合計】(H24.1.23現在)￥1,244,444

【支援金をいただいた方】(H24.1.22~2.23)

吉水様(東京都)／Sue-San様(イギリス)／Wendy-San様(イギリス)／眞鍋様(東京都)／じゃじゃおいけん様(東京都)／ちば様／近藤様

支援金を募集しております

被災地への支援活動に使う支援金を随時募集しております。 無理のない範囲でご協力いただければと思います。詳しくはホームページをご覧ください。

※「ゆいっこ盛岡新聞」は、いわてゆいっこ盛岡ホームページよりPDFでご覧いただけます。郵送をご希望の方は電話やメールにて事務局にお知らせください。

助成 日本財団 The Nippon Foundation

災害ボランティア・NPO活動サポート募金

この事業は赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」の助成を受け実施しています。